

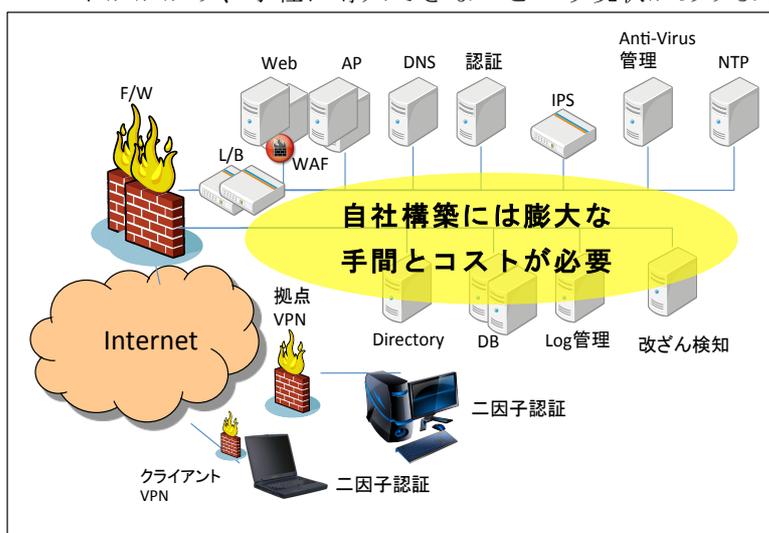
**自社構築に比べて初期コストは約1/5**  
**【世界初】クレジット産業に特化したクラウドサービス**  
 ～業界が求めるセキュリティ基準 PCI DSS への準拠を迅速かつ容易に～

国内最大級のレンタルサーバサービス「at+link（エーティールink）」や IP ビジネスフォンサービス「BIZTEL（ビズテル）」を展開する株式会社リンク(本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田元治)は、クレジットカードのデータを取り扱う際に必須とされるセキュリティ基準 PCI DSS<sup>※1</sup>の準拠を支援するクラウドサービス「PCI DSS Ready Cloud（ピーシーアイ ディーエスエス レディー クラウド）」を5月21日（火）より提供いたします。

### ■利用企業の PCI DSS への準拠を促進する世界初のクラウドサービス

近年、EC サイトにおけるクレジットカード決済のみならず、スマートフォンをクレジットカード決済端末として利用することで、個人商店やイベント主催者がクレジットカード加盟店になることができるなど、クレジットカードの取扱いはますます増加する傾向にあります。

一方でクレジットカードのデータは個人情報の中でもセンシティブな情報であるため、そのデータを取り扱うネットワークシステムのセキュリティ基準は高く、国際カードブランド（American Express/Discover/JCB/MasterCard/Visa）の5社が策定した PCI DSS とよばれる基準に準拠することがカード会社や行政機関から求められています。このセキュリティ基準の要件は厳しく、一般的に図1のようなシステムが要求され、膨大な手間とコストがかかり、手軽に導入できないという現状があります。そこで、リンクはこの度、



①カード決済代行業者②カード会社③EC サイトなどの加盟店④PCI DSS に準ずるセキュリティが要求される企業に対して、PCI DSS への準拠を迅速に、容易に、低コストで可能にするクラウドサービス「PCI DSS Ready Cloud」を提供します。利用企業の PCI DSS への準拠を促進する PaaS<sup>※2</sup>（プラットフォーム アズア サービス）は世界初となります。

図1 PCI DSS に準拠するサービスプロバイダの一般的なシステム構成

※1 国際カードブランド5社（VISA・MasterCard・AmericanExpress・Discover・JCB）が共同で定めたクレジットカード情報保護に関する国際基準です。Payment Card Industry Data Security Standardの頭文字をとったもの。

※2 アプリケーションソフトが稼動するためのハードウェアやOSなどの基盤（プラットフォーム）一式を、インターネット上のサービスとして遠隔から利用できるようにしたもの。

## ■セキュリティ基準を満たす環境をクラウドで構築

PCI DSS に準拠したクラウド事業者は世界中に数多く存在しています。しかし、クレジット決済代行業者などの導入企業は、そのサービスを利用するだけでは PCI DSS に準拠することはできません。従来の PCI DSS 準拠済みクラウド事業者のサービスを利用しても大半（図 2 の黄色と赤色の部分）の要件についてユーザ企業自らがシステム投資をして対応しなくてはなりません。そのためユーザ企業は、せつかく準拠済みクラウド事業者を選択しても、自らの準拠のために膨大な手間と費用がかかってしまう現状があります。

リンクが提供する「PCI DSS Ready Cloud」は、ユーザ企業が PCI DSS に準拠するために必要なリソースを全てクラウド上で提供する世界初の PaaS である点が他社と比較した際の最大の優位性です。ユーザ企業はこのサービスを利用することにより、手軽で迅速にクレジットカードデータを取り扱う自社専用の環境を構築できるため、より自身のビジネスに注力することができます。また必要なソフトウェア等を自社で投資して用意する必要はないため、コストを抑えての構築と運用が実現します。

	PCI DSS要件	通常のPCI DSSに準拠したクラウド事業者の場合
要件1	データを保護するためにファイアウォールの導入をし、最適な設定を維持する	一部クラウド事業者側が対応するが、大半はユーザ企業側が対応
要件2	システムパスワードおよび他のセキュリティパラメータにベンダ提供のデフォルト値を使用しない	一部クラウド事業者側が対応するが、大半はユーザ企業側が対応
要件3	保存されるカード会員データを保護する	ユーザ企業側が対応
要件4	オープンな公共ネットワーク経由でカード会員データを伝送する場合、暗号化する	ユーザ企業側が対応
要件5	アンチウィルスソフトウェアまたはプログラムを使用し、定期的に更新する	ユーザ企業側が対応
要件6	安全性の高いシステムとアプリケーションを開発し、保守する	ユーザ企業側が対応
要件7	カード会員データへのアクセスを、業務上必要な範囲内に制限する	ユーザ企業側が対応
要件8	コンピュータにアクセスできる各ユーザに一意の ID を割り当て	ユーザ企業側が対応
要件9	カード会員データへの物理的アクセスを制限する	クラウド事業者側が対応
要件10	ネットワークリソースおよびカード会員データへのすべてのアクセスを追跡および監視する	ユーザ企業側が対応
要件11	セキュリティシステムおよびプロセスを定期的にテストする。	ユーザ企業側が対応
要件12	すべての担当者の情報セキュリティポリシーを整備する。	一部クラウド事業者側が対応するが、大半はユーザ企業側が対応

図 2

## ■自社で構築するよりも低コストで準拠可能

PCI DSS に完全に準拠するためには、カード会員データを保護するための図 2 の 12 要件が要求されており、12 の要件は更に約 300 の項目により構成されています。そのため、それら全て自社で満たすためには膨大なコストと手間が必要となります。

ソフトウェア等を購入し自社で環境に組み込むオンプレミス型での構築の場合、PCI DSS に準拠しているクラウド事業者のサービスを使う場合のいずれも、初期コストは 1,500 万円ほどかかります。「PCI DSS Ready Cloud」を利用すれば初期費用 180 万円で可能なため、コストを抑えながら要件を満たすことが可能となります。

PCI DSS Ready Cloud の詳細はこちらの Web サイトをご覧ください。  
<http://pcireadycloud.com/>

## ■ 料金

初期費用：180 万円～      月額：90 万円～

### 株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティングを軸として、クラウド型ホスティング・コロケーション・携帯向け CMS・クラウド型 IP ビジネスフォンなど、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。2009 年からは農系事業にも取り組んでおり、2010 年 2 月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「中洞牧場」および同牧場の直営店を運営しています。事業内容の詳細は、<http://www.link.co.jp/> をご覧ください。

#### 本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社リンク  
担当：原田

〒107-0052  
東京都港区赤坂 7 丁目 3 番 37 号  
カナダ大使館ビル 1 階  
TEL：03-5785-2255 / FAX：03-5785-2277  
Eメール：[pr@link.co.jp](mailto:pr@link.co.jp)